

## サウンディング型市場調査 主な意見

### 民間事業者のニーズ、施設のポテンシャルに関すること

- 各スポーツ施設は全体的に好立地であり、参画するうえでは魅力的という意見がある。
- 大規模改修等によって複合施設となる場合、新たな集客ポテンシャルが高まる可能性が高いという意見がある。
- 環境施設は、SDGsとの親和性が高く、市民が参画する場所づくりをテーマにできるという意見がある。

### 管理運営に関する課題、事業参加するための課題に関すること

#### 【インセンティブ制度、自主事業関係】

- 利用料金制度の導入や自主事業を増やしていくことで、事業者が自主的に経営努力を行うため、施設利用者に対するサービス向上が期待できるという意見がある。
- 利用料金制度について、高齢者など減免を受ける利用者が多い施設は導入に向けての課題が多いという意見がある。
- モニタリング評価結果を次回選定時に反映するインセンティブ制度の導入については、現場のスタッフの目標や成果となり、モチベーションがあがるという意見がある一方、新規事業者が参入しにくい点もあるため、導入する際は配点割合に配慮してほしいという意見もある。

#### 【経費負担、リスク分担など】

- コロナ等の不可抗力による休業等による経費負担やリスク分担について、事前に可能な限り具体化するとともに、協議の場合の方法や考え方などについても協定書へ具体的に明記してもらいたいという意見がある。
- 市直営施設との複合施設の場合は、担当部門とのリスク分担を明確にしておく必要があるという意見がある。
- 災害等で避難所となる場合、指定管理者の業務の範囲を明確に示してもらいたいという意見がある。

### 公募条件(指定期間、公募方法)に関すること

- 質問に対する回答から申込締切までの期間を十分に確保(2週間以上)してほしいという意見がある。
- 施設ごとに重視するポイントに対して配点を多くすることで、応募者から具体的な提案を多く集められる条件を整備するとよいという意見がある。
- 指定期間は現行の5年は、緊張感が続く期間として適切だと考えているという意見がある。
- 大規模な投資を求められる場合は、10年～20年の指定期間が必要という意見がある。

### 民間ノウハウを活用した市民サービスの向上、効果的・効率的な管理運営に関すること

- 複合施設(複数の公の施設)や近距離の類似施設については、間接経費の縮減や人員配置の見直しなどの観点から、可能な限り一体的な管理を行うことが望ましいという意見がある。
- 一人の職員が複数の役割を担えるよう人材育成する(マルチジョブ化)ことで、効率的に運営ができるという意見がある。
- 指定管理者がセルフモニタリングの一環として外部委員によるモニタリングを行っているという意見がある。